

‘全農式点滴灌水システム貸出し機’のご紹介

皆さん「全農式点滴灌水システム」はご存知ですか？このシステムは全農の営農・技術センター(平塚市)で開発された地中点滴灌水の手法を取り入れた栽培システムで、これを活用することで水を効率的に作物(ネギ)に与えることができ、収量・品質の向上が図れます。



全農では、このシステムの貸出しを実施しており、平成30年度については、県内2JAから利用いただきました。今回はその貸出し事例や、貸出し内容(機器)についてご紹介いたします。

1. 全農式点滴灌水システム 貸出し機について

貸出し内容(機器・部材)



システム本体



配水パイプ



点滴チューブ



継手部材

※上記機器・部材一式を、指定納品先に一括送付いたします。

システム貸出し～返却までの流れ

①農寄りJAへ連絡

貸出機を利用したい旨をJAに連絡。

②申請書作成

JAより「貸出利用申請書」を作成⇒全農にいがたへ提出
※台数に限りがありますので、利用希望の場合はお早めにJAに問い合わせ下さい

③貸出し・利用開始

指定場所(JA店舗等)へ、機器一式を納品

④報告書作成・機器返却

利用期間終了後・・・
・JAより「利用報告書」を作成⇒全農にいがたへ提出
・機器一式を指定返却先へ送付。

2. 平成30年度 県内利用事例

事例①「JA新潟市」

- ①品目 : やわ肌ねぎ (品種: ホワイトタイガー)
 ②定植日 : 4月28日
 ③灌水開始日: 5月24日
 (点滴開始前はスプリンクラーにて灌水)
 ④システム導入効果



区	平均株重 (g)	収量 (g/1m)	規格別数量割合 (%)					全長 (cm)	葉鞘径 (mm)	分岐長 (cm)
			2L	L	M	S	規格外			
試験区	190	7,062	5	68	17	5	5	97.3	19.5	44.2
慣行区	174	5,937	3	56	20	18	3	89.8	18.0	40.1

- ・点滴灌水区のほうが草丈が高く、生育も早かった (上表の数値以上に目視での生育差が確認できた。)
- ・システムを活用したことで、高温・乾燥条件下で発生する病害虫の被害も少ないように思えた。

⑤今後の普及方針 (JA担当者から一言)

- ・今回試験した生産者より「次年度も継続したい」との声をいただいた。
- ・圃場巡回指導会時に部会員に向けて試験内容を紹介したところ、興味を示した生産者もあり、導入を検討したいという声もいただいた。今後についても生産者にシステムに関して情報発信しながら、産地として導入に向けた検討を進めていきたい。

事例②「JA十日町」

- ①品目 : やわ肌ねぎ (品種: 夏扇4号)
 ②定植日 : 5月20日
 ③灌水開始日: 7月2日
 ④システム導入効果



- ・6月下旬～8月上旬にかけて高温・渇水が続き、無灌水区では生育停滞や葉先枯れの症状が強く見られたが、点滴灌水区では生育が停滞せず、明らかに渇水の影響が少なかった。
- ・また、点滴灌水区のネギでは葉の展開が早く、収穫期を前進させる効果があると感じた。

⑤今後の普及方針等 (JA担当者から一言)

- ・今回の導入圃場は地理的条件から水源確保に非常に苦労した。別の生産者もシステムに興味を示しているため、来年度はより水源の確保しやすい圃場で貸出し機を利用し効果を検証したい。
- ・適切な水量・水圧を確保したうえでシステムを活用することができれば、収穫期の前進化、および収穫期間の延長も期待でき、圃場面積拡大も視野に入ると思う。

JA全農にいがたでは、貸出し対応だけでなくシステム本体の販売も行っております。
 興味を持たれた方は最寄りのJAへお問い合わせ下さい。



以上

(JA全農にいがた 園芸部 園芸総合課)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。